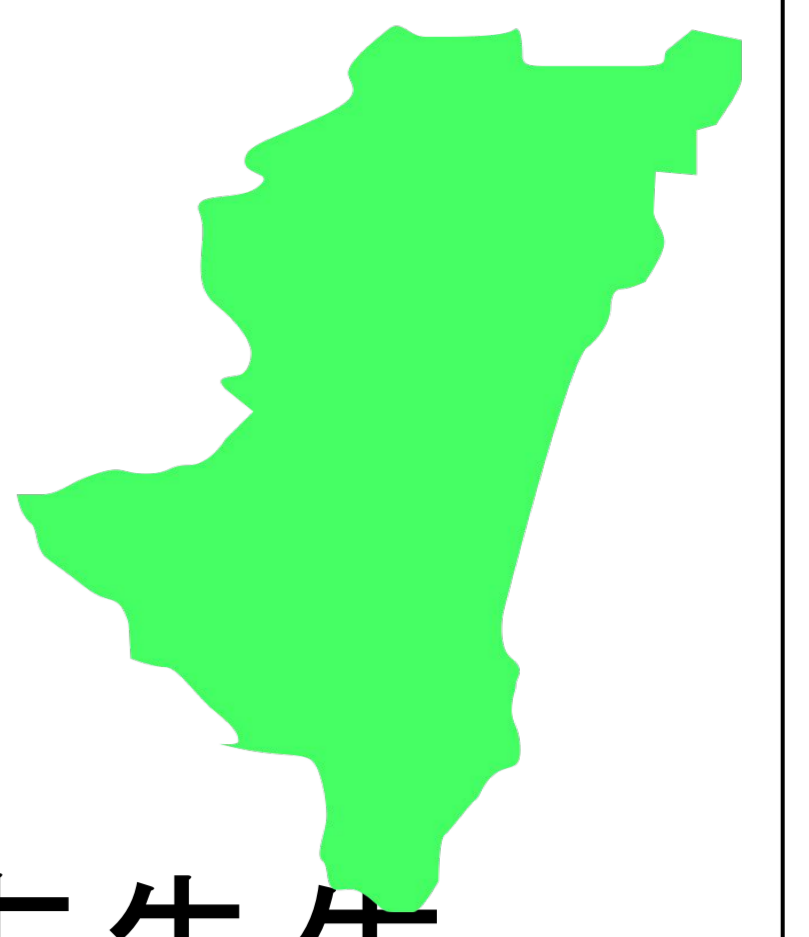


普通科人文・社会科学28班

宮崎県の方言の普及のためには



班員 小野 将京 河野 世奈 田中 遥歌
田中 佑実 八幡領 俊希

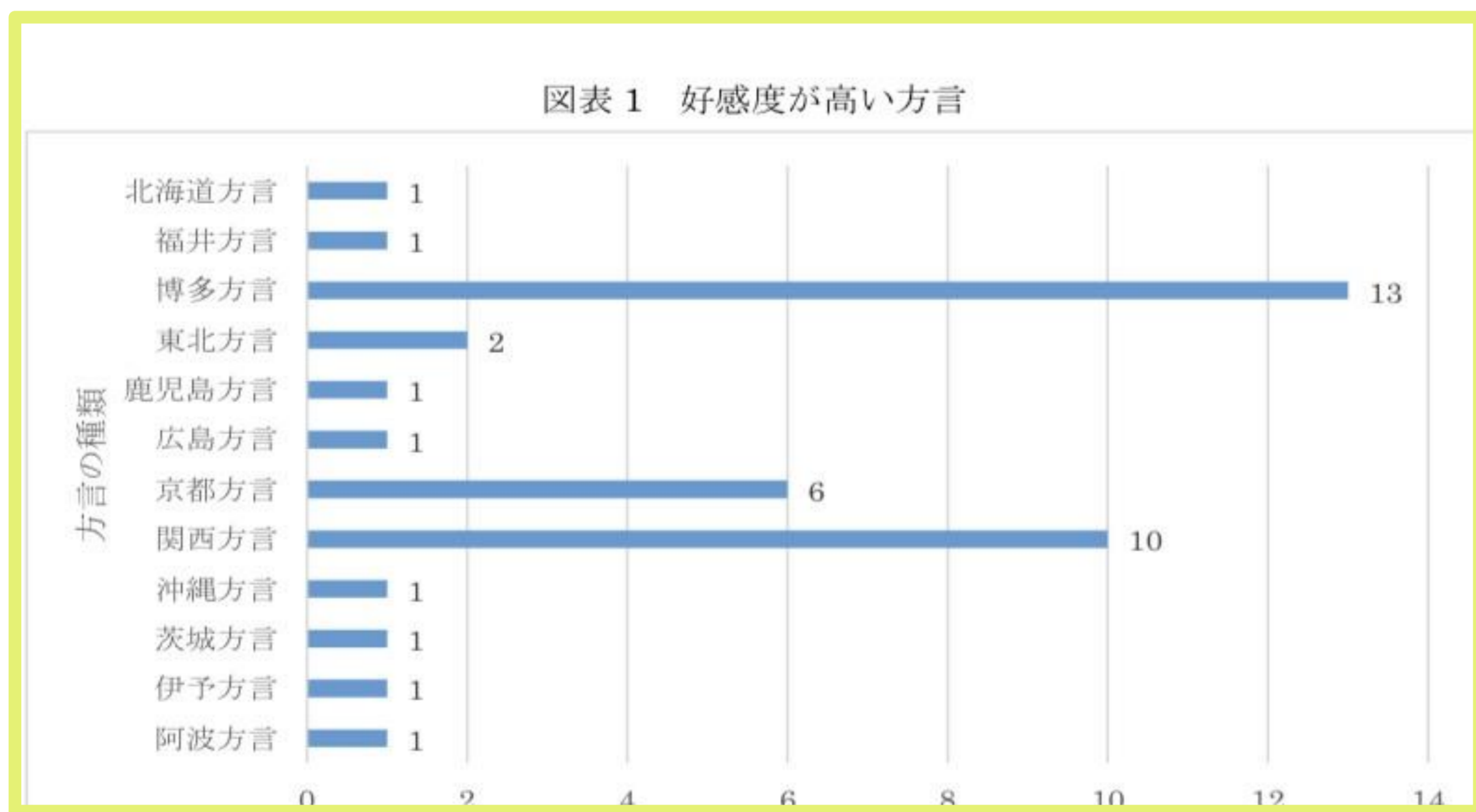
指導者 木佐貫 弘志先生

研究の動機

延岡市外の出身者と会話していてニュアンスの違いなどを不思議に思ったから。
また、宮崎弁が持つ特徴や魅力が知れ渡れば宮崎の人気も高まるのではないかと考えたから。

先行研究

駒澤大学「広告における方言使用の有効性と影響について」
<https://www.komazawa-u.ac.jp/~knakano/NakanoSeminar/wp-content/uploads/2018/08/%E7%AB%B9%E5%86%85%E8%8F%AF%E5%A5%88%E5%AD%90%E3%80%8C%E5%BA%83%E5%91%8A%E8%A1%A8%E7%8F%BE%E3%81%AB%E3%81%8A%E3%81%91%E3%82%8B%E6%96%B9%E8%A8%80%E4%BD%BF%E7%94%A8%E3%81%AE%E6%9C%89%E5%8A%B9%E6%80%A7%E3%81%A8%E5%BD%B1%E9%9F%BF%E3%81%AB%E3%81%A4%E3%81%84%E3%81%A6%E3%80%8D.pdf>
上記の研究より、広告に方言を使用することは、消費者に良い印象を与えることが分かる。
また、西日本方言への好感度が比較的高いと考えられる。(下図表1)



研究方法

- 1 普通科生徒約160名から、アンケートをとり、どんな方言が好きか、知っているのか調査する。
- 2 使われ方やイントネーションが、人気のあった方言に似ている宮崎の言葉を探す。
- 3 あげられたいくつかの言葉の中で流行りそう使いたい、と思ったものはなにかを問うアンケートをとる。
- 4 有名な方言がどのように広まっていったのかを文献等で調べる。

必要な道具


- ・方言に関連した辞書
- ・音声分析ソフト
- ・パソコン



仮説

関西弁のような使いやすさ、親しみやすさをアピールすることができれば、自然と広がっていくのではないか。
また、博多弁の「ばい」「たい」などの語尾にくっつく言葉が使われやすいのではないか。宮崎弁でいえば例えば「〇〇ちゃが」「〇〇ばい」などである。

研究計画

12~3月	テーマ設定 先行研究・文献調べ
4~5月	人気の方言を探るためのアンケートをとる。 結果を集計し、上位だった方言の語を収集する。 
6~7月	人気上位の語の特徴を求め、似た宮崎弁の語を集める。(イントネーションや意味、使われ方など) その中からどれが流行りそう、使いたいと思うかアンケートをとる
8~9月	人気の方言の広まり方を、文献等から調査する。
10~12月	研究の結果、宮崎弁が人気のある方言のように広がるのか結論を出す。

参考文献

- 日本における方言調査法
[http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/results/cours\(2001\)/abe_jp.htm](http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/ykawa/results/cours(2001)/abe_jp.htm)
若者言葉「それな」の研究
http://hougen.sakura.ne.jp/hidaka/kenkyu/zemi/s_hishido.pdf
じゃらんニュース「人気の方言ランキング」
<https://www.jalan.net/news/article/587145/>
関西方言・関西的コミュニケーションの広がりが意味するもの
https://www.jstage.jst.go.jp/article/jails/7/1/7_KJ00008440050/article/-char/ja/